

## 令和3年度静岡県産業教育振興会教員特別研究報告書

研究題目：シブカワツツジを活用した引佐町渋川地区の活性化を目指す取り組み

研究者：静岡県立浜松湖北高等学校 中澤 修・池田 里奈

### 1 研究のテーマ設定の理由

浜松湖北高校が位置する引佐町には、環境省から絶滅危惧Ⅱ類に指定され、その群落が静岡県の天然記念物に指定されている（1971年）シブカワツツジが生息している（図1）。

シブカワツツジを支えるべき引佐町渋川地区は過疎化や高齢化が急速に進んでいる。渋川地区の人口推移は、平成27年～令和3年の7年間で約150人ものが減少している（令和3年12月1日現在）。また、年齢別人口構成比は、65歳以上の人とその地区の人口に占める割合が約55%と渋川地区の半分以上の人が高齢者になる（令和3年10月1日現在）。そのため地元住民が保全活動を進めることが困難な状態になっている。貴重な地域資源がこのような課題にある中、本校がシブカワツツジを活かし、引佐町渋川地区の魅力の発信と地域の活性化を図るためにこの活動に取り組んだ。



図1 シブカワツツジ

### 2 活動集団

- (1) 浜松湖北高校産業マネジメントI科（農業）35HR栽培科学類型19名の生徒
- (2) 渋川つつじを愛する会

### 3 シブカワツツジの苗木の栽培（通年）

昨年まで栽培してきた苗木や新たに実生で繁殖させた苗木を栽培している。栽培管理は、主に35HR栽培科学類型の生徒が行っている。苗木の鉢替えや除草作業、有機肥料の追肥などを行っている。増殖は、他地域の個体や集団との遺伝子の攪乱を防ぐため、渋川地区由来の種子から繁殖した。播種後、ミストトンネルで高い確率で発根・発芽をさせ、育苗する方法を本校は確立している。得られた実生苗は配布用や定植用とした。

### 4 校内敷地へのシブカワツツジの定植作業（令和3年4月下旬～5月中旬、10月中旬）

本校がシブカワツツジに関しての理解を深めてもらう発信地となること、第2の生息地になることを目指し、校内敷地へ定植を行った。今年度は、ガラス温室南側花壇とプール東側斜面に定植した。栽培上の大きな課題は、夏の猛暑や乾燥で根が傷むことである。温室南側花壇では、対策として苗木の根元にゴロ石を敷き詰めた。プール東側斜面は立地条件として、半日陰になり、比較的保湿を維持することができる。管理作業として除草や追肥作業を行った。今年度の苗木の定植数は、ガラス温室南側花壇に21本、プール東側斜面に24本定植した。

## 5 シブカワツツジの苗木の配布（令和3年5月15日）

例年は、5月下旬に『渋川つつじ祭り』が開催され、本校も出展し、活動の説明や苗木の配布・販売を実施してきた。しかし、昨年に引き続き今年も新型コロナウイルス感染拡大に伴い、つつじ祭りは中止になった。そこで、「渋川つつじを愛する会」から、開花期にシブカワツツジを見に来る人達に対して、苗木の配布の要請があった。感染拡大防止対策を取りながら、ツツジを見に来た人たちへ本校生徒が栽培した発芽苗と苗木を数十鉢配布した。

## 6 中学校出前授業『シブカワツツジ講座』（令和3年11月12日）

浜松市立引佐南部中学校での出前授業として、シブカワツツジ講座を実施した。地元で生息する貴重な植物であり、旧引佐町の町木であること、マンホールにもデザインされていることなどを説明した。シブカワツツジの存在を知らない中学生も少なくなかった。自宅でも自ら栽培してもらうため、播種した鉢と苗木を持ち帰ってもらった。実生苗の栽培は、ジッパー付きビニール袋で栽培を行う方法を用い、本校で確立した。授業後のアンケートでは多くの生徒からシブカワツツジに興味を持ったとの回答があった。

## 7 渋川地区へのシブカワツツジの定植作業（令和3年11月18日）

定植作業は「渋川つつじを愛する会」の御協力のもと、栽培科学類型の生徒19人で行った（図2）。場所は旧浜松市立渋川小学校で、現在は地域の交流の場になっている。苗木は渋川地区由来の実生を用いた。定植場所は花壇と校庭周辺とし、油かすを元肥とした。夏の猛暑・乾燥対策として、苗木の根元に多めの土を寄せた。今年度は、70本の苗木を定植した後には「渋川つつじを愛する会」の皆様から大変感謝され、本校の活動の意義を強く感じる事ができた。



図2 旧渋川小学校への定植作業

## 8 地域開放講座『シブカワツツジ講座』（令和3年11月25日）

講座は、学校近隣住民を対象とし、生徒が講師を務めた。地元住民に参加者を募集し、講座には21人が参加した。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止を行いながら開催した。講座のはじめに、シブカワツツジの特性や本校でのこれまでの取り組みを説明した。その後、種まき体験を実施し、播種した鉢と苗木を持ち帰ってもらった。受講した皆様のアンケート結果から、参加していただいた多くの皆様に満足していただけた（大変満足した・満足した95%）。また、この講座を楽しみにしている皆様の多いことや御自宅でもシブカワツツジ栽培に意欲的にチャレンジされていることをうかがえた。

## 9 まとめ

- (1) ミストトンネル・ジッパー付きビニール袋を用いた播種・栽培方法の確立
- (2) 地元住民・中学生への情報発信による理解促進、自宅や地元の学校での栽培拡大
- (3) 「渋川つつじを愛する会」との連携と渋川地区への定植拡大